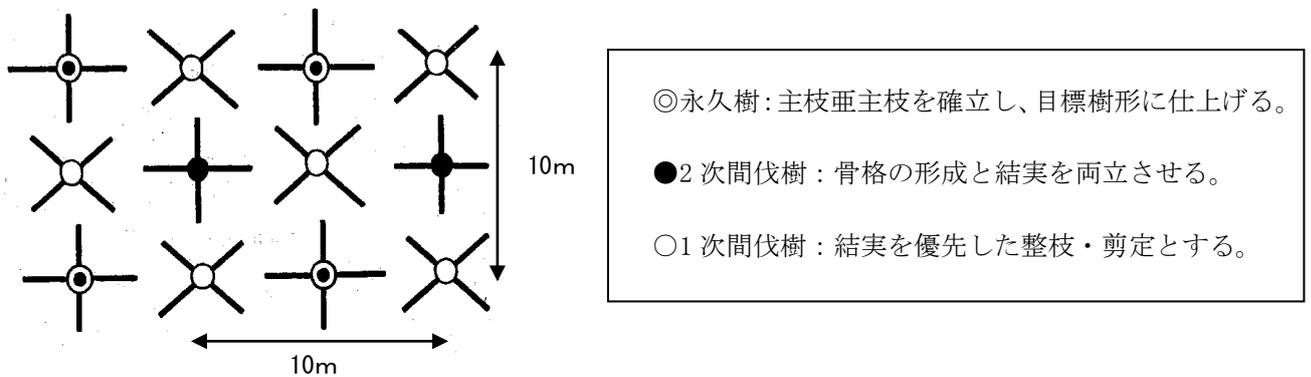


1. 南水整枝剪定のポイント

✿ 間伐・縮伐

5m×5m植え（又は4m×4m）では、8年目以降、主枝等の交差が多くなるので、縮伐・間伐を計画的に実施する必要がある。間伐が遅れると、混み合いから、主枝先端部分が弱り、樹冠拡大が遅れる。8年目を目安に1次間伐の縮伐を開始し、10～11年程度を目安に、1次間伐を終了させる。



上図: 計画密植での主枝の配置

◇ 間伐にあたっては、遠い位置まで落ち着いた花芽をつけるために、骨格枝として垂直主枝を育成することが必要となる。成木では、4本主枝を基本とし、各主枝に2本ずつ計8本の主枝を配置することが基本である。垂直主枝の位置付けができていないか、主幹に対して太すぎる枝（特に樹冠内部）がないか、確認する。



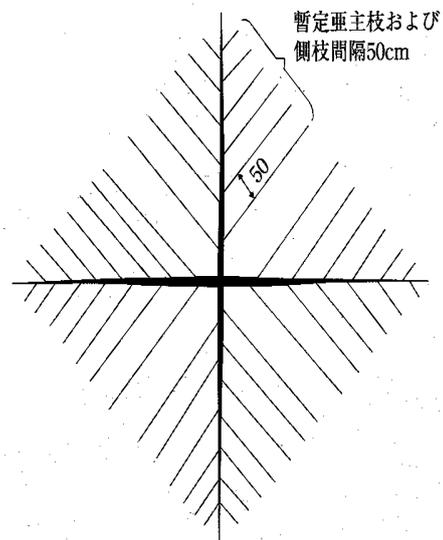
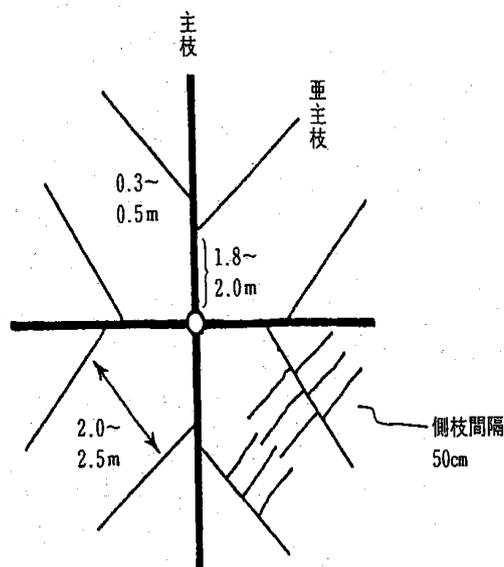
✿ 垂主枝の育成

① 現在発生している若い枝から良い位置のものを選び、養成する。

- 主幹部から 1.8m 程度に第一垂主枝、その 50~60cm 先に第二垂主枝
- 垂主枝間隔は、2m 以上空ける。

② 将来、側枝（結果枝）を多く配置するための枝である。側枝の候補となる横部からの新梢が発生しやすいよう誘導する。

- 枝の樹勢を強化する。 → 先端部を強化し、枝全体の着果負担も減らす。
- 切り口部分（潜芽の発生部分）を確保する。 → 短果枝群をある程度基部から整理（切除）する。



2. 芽すぐり（花芽整理）の目的

結実が不安定な品種（品目）は、開花前までに有る程度芽すぐり（花芽整理）を実施しておく必要がある。そうすることで、開花時の受粉能力を最大限に高めることができる。

特に南水等は、結実が毎年不安定で、どうしても芽数を確保しておきたくところであるが、逆に芽数が多すぎると、開花時に貯蔵養分の競合がおき、結果として結実不良のなる場合が多い。芽数を思い切って制限することは勇気のいる作業であるが、花の能力を最大限に高め、結実安定を図るため、整枝剪定と並行して積極的に実施する。

✿ 芽すぐり（花芽整理）のポイント

- ① **1短果枝当り1～2芽を残す**。主枝・亜主枝に片側15cm間隔で、横向きか斜め下向きの短果枝群を残し、上芽と下芽は基本的に切除する。
- ② ショウガ芽（短果枝群）を整理して貯蔵養分の消耗を防ぐ。通常はハサミで位置の悪い短果枝を中心に切除するが、葉枚数の確保を含めて、手で花芽を欠いてもよい。
- ③ 側枝の横向き（外側向き）の芽を2芽残す。上向きの短果枝は日焼け果になりやすいので切除すること。
- ④ 基の花芽に切り戻さず、果台を積み上げ、外に開いたように整理する（花芽の間隔が広くなり、受粉や袋掛けの作業が楽になる）
- ⑤ 横向き、斜め上向きなど欲しい方向（着果させたい方向）の花芽を残すことで、良質の花芽に養分を集中させ、幼果の肥大促進を図るために必要な管理。樹勢を保ち、肥大を促すことで、くぼみ果、条溝果の低減も期待できる。
- ⑥ 着果負担を減らして樹勢の維持、葉の増加も図ることができ、日焼けの防止にも役立てたい。



芽すぐりの例
斜め横向きまたは斜め上の芽を残すこと。





1. ナシ生産基盤維持・生産性向上対策

● 2021年度生産計画

和梨：面積 12 ㊦ (前年±0 ㊦)・部会取扱量：38,000 箱 (5 kg) ⇒ 190 トン

西洋梨：面積 6.0 ㊦ (前年±0 ㊦)・部会取扱量：22,000 箱 (5 kg) ⇒ 110 トン

他品目（ぶどう他）への転換等あり、ナシ類合計面積は減少中。和梨（南水）は導入から面積を拡大維持（20 ㊦）してきたがH28から減少。西洋梨は新・改植等ありここ3年間は6 ㊦前後の面積維持をしてきたが多品目への転換等により減少。下記は年度別面積・生産者数の推移。

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
和梨	19ha・80人	17ha・75人	16ha・72人	15 ㊦・67人	12 ㊦・67人	12 ㊦・65人
西洋梨	7 ㊦・53人	6.5 ㊦・53人	7 ㊦・47人	7 ㊦・47人	6 ㊦・47人	6 ㊦・40人

● 生産計画量達成のための目標反別収穫量

和梨：2.0 トン/10a ⇒ ももコンテナで約 250 箱/10a

西洋梨：2.2 トン/10a ⇒ りんごコンテナで約 220 箱/10a

● 生産基盤維持対策

老木園や低位生産園への苗木補植・改植を早めに進める。特に西洋梨は早急な対応が必要。

和梨：南水欠木部分への補植。少量品種の改植・更新（園地の若返り）。

西洋梨：改植によるラフランス園の若返り。欠木部分への補植。腐らん病対策徹底。

参考：R2 苗木導入状況

和梨： 50本 ⇒ 約 30a分（春・秋）

西洋梨： 40本 ⇒ 約 10a分（春・秋）

● 生産性向上（高品質化）対策

主力品種南水・ラフランスの結実安定・高品質生産のため、初期管理の徹底を図る。

南水：有袋化推進・剪定時の花芽整理・開花期の花摘み・早期袋掛け他

ラフランス：有袋化推進・摘花・早期一輪摘果・早期袋掛け・一重袋推進他

◆ **R3 農業振興開発事業（予定）**

事業名	対象	助成率（%）
果樹品目品質向上対策	ナシ果実袋購入助成	20

① 助成率：税抜額に対して 20%以内

② 注文：すでに予約された方も対象になりますが、新規又は追加で注文される場合は、各事業所へお願いします。尚、助成対象品につき返品はご容赦ください。

③ 対象果実袋・予約価格（税込）

果実袋名	予約価格（円）/1 枚	対象品種他	利用実績（R2 年）
特選南水袋	<u>6.16</u>	南水・あきづき	和梨 第1位
特選南水袋（特大）	<u>7.56</u>	南水・あきづき	和梨 第2位
ラ・フランス 2	<u>3.51</u>	オーロラ・ラフランス他	西洋梨 第1位
1-YX（ミニ）	<u>4.98</u>	ラ・フランス他	西洋梨 第2位
1-YX（縦止 I 切）	<u>5.24</u>	ラ・フランス他	西洋梨 第3位
1-YX（特大）	<u>7.74</u>	ラ・フランス・大玉系	西洋梨 第4位

◆ **西洋梨苗木の注文とりまとめについて**

苗木の導入を図り園地の若返り・生産基盤の再構築に向けて部会員の皆様に取り組みをお願いいたします。

ラ・フランス（マメナシ台） 1,980 円 ラ・フランス（A+OH 台） 2,200 円

オーロラ（マメナシ台） 1,980 円 オーロラ（A+OH 台） 2,200 円

1. 助成措置 : 5 本以上の注文の場合、購入代金の税抜き 2 割以内の助成を行う予定です。
2. 締め切り : 2 月 28 日までに各事業所へ提出してください。
3. 配布予定 : 3 月中下旬（資材課より配達予定）

◆ **和梨南水用人工授粉用（純花粉）の注文について**

昨年、春先の低温・凍霜害などの影響により結実が不足しました。結実確保、生産量の安定を目指して本年も人工授粉用の花粉の取りまとめを実施します。

- 南水用花粉（雪花梨）：1 袋（10 g 入り） 4,740 円（税込）※R2 価格
- 石松子：1 袋（80 g 入り） 1,041 円（税込）※R2 価格
- 締め切り : 3 月 5 日（金） 南水の開花期に合わせて配布予定（4 月上旬頃）